

MARIANNA SHIRINYAN

マリアンナ
シリニャン

きらめ

煌きのピアノソロ

詩的な鍵盤使いと情熱的な表現
透明感溢れるクリスタルな音が
ダイナミックに煌く——

program

J.S.バッハ(F.ブゾーニ編):シャコンヌ ニ短調

細川俊夫:ピアノのためのエチュードより

Ⅰ 2つの線

Ⅱ 点と線

A.ベルク:ピアノソナタ

T.マンスリアン:低音鍵盤のための3つの小品

F.F.ショパン:バラード第3番 変イ長調 Op.47

バラード第4番 ヘ短調 Op.52

子守歌 変ニ長調 Op.57

アンダンテ・スピナートと華麗な
大ポロネーズ 変ホ長調 Op.22

平成28年

10月17日(月) 18時30分開場
19時開演JMSアステールプラザ オークストラ等練習場
(広島市中区加古町4-17)

■入場料 一般 2,500円(当日3,000円) 学生 1,500円(当日2,000円)

※全席自由・消費税込み※就学前のお子様のご同伴、ご入場はご遠慮ください。※前売券が売り切れた場合は当日券の販売はいたしません。

○主催○ひろしまオペラ・音楽推進委員会、広島市、(公財)広島市文化財団 アステールプラザ、中国新聞社
○助成○平成28年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業
○後援○広島市教育委員会、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz



~音楽監督・お話~
細川 俊夫



マリアンナ・シリニャンの演奏は、数年前に準・メルクル指揮ヘルシンキ・フィルハーモニー交響楽団の定期演奏会で初めて聴きました。公演ではモーツァルトのピアノ協奏曲K.488と、その曲へのオマージュとして作曲された私のピアノ協奏曲『月夜の蓮』の2つの協奏曲が、彼女のピアノで上演されました。マリアンナのピアノは、とてもエレガントであると同時に豊かなダイナミズムにもあふれていて、その豊かな音楽性としっかりとした技術に深く感銘を受けました。モーツァルトは、ピアノが自在にどこまでも典雅に歌われており、たまに即興的なパッセージが宝石のように煌めきます。また私の作品では、極めて繊細な表現で、彼女が心の奥で感じている音楽が直接的に聴衆に伝わってきます。舞台姿も美しく、ほんとうに素晴らしい素敵なピアニストです。

細川 俊夫 (作曲)



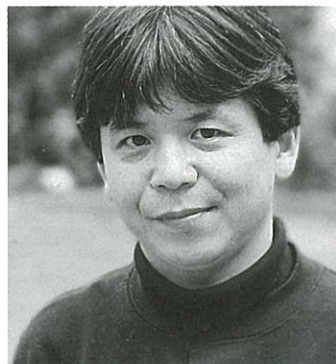
2006年ミュンヘン国際音楽コンクール第2位を含む5つの賞を受賞。以降、ソリストまた室内楽奏者として、目覚ましい勢いで世界的な活躍の場を広げている。ドイツのシュレースヴィヒ＝ホルシュタイン音楽祭、シュヴェツィンゲン音楽祭、MDR(中央ドイツラジオ放送)国際室内楽フェスティバル、ノルウェイのベルゲン国際音楽祭、スタヴァンゲル国際室内楽フェスティバル、武漢ピアノ・フェスティバルなどの世界的な音楽祭にゲストとして招かれている。また、デンマーク国立響、オスロ・フィル、ヘルシンキ・フィル、コペンハーゲン・フィル、イエーテボリ響等、スカンジナビア半島のデンマーク、スウェーデンの名立たるオーケストラとの共演で、同世代のピアニスト、ソリストとしては主要な存在としての評判を得ている。スカンジナビア半島の他では、バイエルン放送響、ミュンヘン響、ヴェルツブルク・フィル、ミュンヘン室内管、アルメニア・フィル等の国際的なオーケストラと共演、ハンス・グラーフ、ゾルタン・コチシュ、アントネッロ・マナコルダ、ラン・シュイ、トマス・ソルダーガード、クシシュトフ・ウルバンスキ、ジョシュア・ワイラースタイン等の指揮者と共演。室内楽では、アンソニー・マーウッド、ヴィルデ・フラング、ベッカ・クーシスト、セルゲイ・マーロフ、マキシム・リザノフ、アンドレアス・ブランテリド、セバスティアン・クリンガーらと度々共演している。現在、ノルウェイ音楽アカデミー(オスロ)の教授として後進の指導にあたる。作曲家の細川俊夫の推薦により、2016年10月の広島交響楽団定期出演を含む、初の本格的な来日ソロ・ツアーが実現。

Marianna SHIRINYAN
マリアンナ・シリニャン

細川 俊夫

Toshio HOSOKAWA

1955年広島生まれ。1976年から10年間ドイツ留学。ベルリン芸術大学でユン・イサンに、フライブルク音楽大学でクラウス・フーバーに作曲を師事。1980年、ダルムシュタット国際現代音楽夏期講習に初めて参加、作品を発表する。以降、ヨーロッパと日本を中心に、作曲活動を展開。日本を代表する作曲家として、欧米の主要なオーケストラ、音楽祭、オペラ劇場等から次々と委嘱を受け、国際的に高い評価を得ている。2004年のエクサンプロヴァンス音楽祭の委嘱による2作目のオペラ「班女」(演出=アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル)、2005年のザルツブルク音楽祭委嘱のオーケストラ作品「循環する海」(世界初演=ウィーン・フィル)、第5回ロシュ・コミッション(2008年)受賞による委嘱作品である2010年世界初演のオーケストラのための「夢を織る」(クリーヴランド管弦楽団によって、ルツェルン音楽祭、カーネギーホール等で初演)、2011年のモネ劇場の委嘱によるオペラ「松風」(演出=サシャ・ヴァレルツ)、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団とバービカン・センター、コンセルトヘボウの共同委嘱による「ホルン協奏曲―開花の時―」といった作品は、大野和士、準・メルクル、ロビン・ティチャークティ、サイモン・ラトルなど、世界一流の指揮者たちによって初演され、その多くはすでにそれぞれのジャンルにおけるレパートリーとして演奏され続けている。2013年のザルツブルク音楽祭では、二度目となる同音楽祭委嘱作品、ソプラノとオーケストラのための「嘆き」の初演をはじめ、アンサンブル・ウィーン=ベルリン委嘱作品「古代の声」の初演ほか、多くの作品が演奏された。2001年にドイツ・ベルリンの芸術アカデミー会員に選ばれる。東京交響楽団1998-2007、ベルリン・ドイツ交響楽団2006/2007シーズン、および西ドイツ放送局合唱団2006-2008、ネーデルランド・フィルハーモニー管弦楽団2013/2014、シーズンのコンポーザー・イン・レジデンスを歴任。2012年秋、紫綬褒章を受章。2015年には、モーツァルト・フェスティバル(ヴェルツブルク)のコンポーザー・イン・レジデンス。2016年ハンブルク国立歌劇場の委嘱による新作オペラ「海、静かな海」(指揮:ケント・ナガノ、原作/演出:平田オリザ)が初演され、大きな成功を収めた。武生国際音楽祭音楽監督、東京音楽大学およびエリザベト音楽大学客員教授。



○入場料

一般 2,500 円 (当日 3,000 円) 学生 1,500 円 (当日 2,000 円)

※全席自由・消費税込み
※就学前のお子様のご同伴、ご入場はご遠慮ください。
※前売券が売り切れた場合は当日券の販売はいたしません。

○チケット販売所

- | | |
|--------------------------|--|
| ■エディオン広島本店 082-247-5111 | ■JMSアステールプラザ 082-244-8000 |
| ■福屋 広島駅前店 082-568-3942 | ■電子チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード:297-314) |
| ■小夜曲(セレナード) 082-246-7727 | ■ローソンチケット 0570-084-006 (Lコード:62577) |
| ■中国新聞社読者広報部 082-236-2455 | ■オンライン販売 http://h-culture.jp/opera/ticket/ |

○お問い合わせ

ひろしまオペラ・音楽推進委員会
TEL 082-244-8000

〒730-0812 広島市中区加古町 4-17
<http://h-culture.jp/opera/classic/>

○アクセス

※自家用車での来場はご遠慮ください。



アクセス(JR広島駅から)
■市内電車「広島港(紙屋町経由)」行きで、「市役所前」下車 徒歩8分、
「江波」行きで、「舟入町」下車 徒歩5分
■市内バス 広島バス「吉島営業所」行き、または「吉島病院」行きで、「加古町」下車 徒歩1分
■タクシー 約15分